

## 特別会計の執行の様子

特別会計とは、国民健康保険事業や下水道事業のように、保険料や使用料などの収入によって運営する事業の会計のことです。特定の事業にかかるお金の流れを分かりやすくするため、一般会計と区別して経理しています。

会計区分	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険 (事業勘定)	112億8,299万円	95億2,607万円 (84.4%)	102億8,177万円 (91.1%)
国民健康保険 (診療施設勘定)	1億3,583万円	6,964万円 (51.3%)	1億1,677万円 (86.0%)
後期高齢者医療	9億6,344万円	6億8,217万円 (70.8%)	8億8,599万円 (92.0%)
介護保険	82億883万円	66億7,921万円 (81.4%)	73億8,235万円 (89.9%)
農産物直売事業	1,890万円	1,890万円 (100.0%)	1,668万円 (88.3%)
伊香保温泉 観光施設事業	1億1,285万円	1億2,045万円 (106.7%)	8,383万円 (74.3%)
小野上温泉事業	3,512万円	1,222万円 (34.8%)	3,332万円 (94.9%)
交流促進 センター事業	717万円	0万円 (0.0%)	560万円 (78.1%)
下水道事業	23億8,875万円	11億1,030万円 (46.5%)	20億2,948万円 (84.3%)
農業集落排水事業	18億7,157万円	5億7,895万円 (30.9%)	12億7,164万円 (67.9%)
個別排水処理事業	2,834万円	491万円 (17.3%)	1,440万円 (50.8%)
簡易水道事業	3億5,408万円	2億2,712万円 (64.1%)	2億6,012万円 (73.5%)

## 企業会計の執行の様子

企業会計とは、市が直接経営する企業の会計で、一般会計と区別して経理しています。民間企業と同様の経理方法が適用され、事業収入で支出を賄うことを原則として運営しています。

区分	予算額	収入または 支出済額	収入率 または 執行率
水道事業	収益的 収支	収入	17億2,094万円 / 16億4,446万円 / 95.6%
		支出	16億2,768万円 / 7億3,625万円 / 45.2%
	資本的 収支	収入	1億8,320万円 / 1億4,335万円 / 78.2%
		支出	12億720万円 / 10億3,146万円 / 85.4%

※収益的収支＝企業の経営活動に関する収支。

※資本的収支＝将来の経営活動に備えて行う建設改良などに関する収支。

## 一般会計の執行の様子

一般会計とは、市税を主な財源としサービス全般に関する経理を行う会計

歳出

執行率76.4%

予算現額353億5,523万円

支出済額270億1,369万円

議会費	(執行率) 98.5%	2億4,668万円 2億4,305万円
総務費	89.5%	49億4,860万円 44億2,994万円
民生費	71.2%	125億7,521万円 89億4,738万円
衛生費	85.6%	23億485万円 19億7,307万円
農林水 産業費	37.3%	21億6,857万円 8億976万円
商工費	90.8%	10億2,111万円 9億2,754万円
土木費	48.9%	27億8,827万円 13億6,213万円
教育費	82.1%	45億3,823万円 37億2,484万円
公債費	99.9%	33億6,935万円 33億6,612万円
その他	88.2%	13億9,436万円 12億2,986万円

### 用語解説

- ▷議会費＝議員の報酬や、議会運営などに使われるお金
- ▷総務費＝市の全般的な事務に使われるお金
- ▷民生費＝子どもや高齢者、体の不自由な人のために使われるお金
- ▷衛生費＝市民の健康増進やごみの処理などに使われるお金
- ▷農林水産業費＝農林水産業の振興や土地改良などに使われるお金
- ▷商工費＝商工業や観光の振興などに使われるお金
- ▷土木費＝道路や公園の整備、区画整理事業などに使われるお金
- ▷教育費＝幼稚園、小・中学校、体育・文化活動などに使われるお金
- ▷公債費＝借り入れたお金の返済に使われるお金
- ▷その他＝消防費や労働費など、その他の支出

## 市有財産の状況

基金	財政調整基金	65億5,275万円
	減債基金	36億213万円
	特定目的基金	58億7,875万円
土地(山林含む)		1,232万5,435m <sup>2</sup>
建物		37万1,187m <sup>2</sup>
有価証券その他の権利		10億7,638万円

※基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために、自治体が条例の定めに基づいて任意に設置した資金又は財産のことです。

財政調整基金は、市税の大幅な減収などに備えて積み立てている基金、減債基金は、将来の借金返済に備えて積み立てている基金、特定目的基金は、福祉事業や国際交流など、用途が特定されている基金です。

# 市の財政執行状況を公表します

お問い合わせ先  
問 合 先  
本 課  
財 政 課  
④ 2 4 1 4

市では、「市財政概要の作成及び公表に関する条例」に基づき、市税などの収入状況やその使われ方、借入金(市債)などの財政状況を、年2回に分けて公表しています。今回は、前年度の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの財政状況をお知らせします。

※金額は3月31日現在のものです、出納整理期間(4月～5月)の収入・支出を含んでいないため決算額とは異なります。

**歳入** 収入率90.3% 予算現額353億5,523万円  
収入済額319億3,012万円

項目	収入率	予算現額(万円)	収入済額(万円)
市税	(収入率) 99.1%	110億1,803万円	109億2,025万円
地方交付税	103.5%	88億5,187万円	91億6,027万円
国庫支出金	83.7%	42億4,339万円	35億5,259万円
県支出金	49.3%	29億3,138万円	14億4,484万円
繰入金	44.0%	6,133万円	2,701万円
諸収入	91.6%	14億4,238万円	13億2,156万円
市債	44.7%	28億1,720万円	12億5,890万円
その他	106.4%	39億8,965万円	42億4,470万円

- ▷市税＝固定資産税や市民税など
- ▷地方交付税＝市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- ▷国庫支出金＝特定の事業を行うために国から交付されるお金
- ▷県支出金＝特定の事業を行うために県から交付されるお金
- ▷繰入金＝積み立てていた基金から繰り入れるお金
- ▷諸収入＝利子や雑収入など
- ▷市債＝国や金融機関などから借り入れるお金
- ▷その他＝財産収入やその他の収入

## 市債の状況

市債とは、市が道路整備や公共施設の建設などを行う場合、国や金融機関から借り入れるお金のことです。市債の借り入れによって、将来世代の人たちにも費用を負担してもらうことになり、世代間の負担を公平にすることができます。

なお、平成29年3月31日現在の借入金総額は641億8,098万円、市民一人あたりでは約80万6千円になります。

借入金の使いみち	借入金残額(万円)	構成比(%)
下水道の整備	210億4,357万円	32.8%
道路・橋りよの整備、 区画整理	66億6,939万円	10.4%
教育施設の建設	73億9,675万円	11.5%
温泉・観光施設の建設	1億8,641万円	0.3%
その他	246億9,747万円	38.5%
計	599億9,359万円	
水道事業会計	41億8,739万円	6.5%
<b>総合計</b>	<b>641億8,098万円</b>	<b>100.0%</b>